



出会い・ふれあい・語り合い みらいよりあい

地域の担い手不足解消のための 解決策について話し合いました！

8月20日の日曜日午後、岩倉北小学校 多目的スペースで持続性の高い魅力ある地域づくりのための対話の場「未来寄合 in 岩倉北小学校区」の3回目「プラスワン～さらなる一步編」を開催しました。この日の参加者は、市民や事務局スタッフを含め28名でした。

まずは事務局より、趣旨説明やこれまでの振り返り、他市事例を紹介。その後、「役員の仕事の見直し・連携」、「デジタル化・IT化」、「待遇や報酬の見直し」の3テーマを設定した5テーブルに分かれ、地域の担い手不足の解消策について話し合いました。各テーブルからの発表と意見交換後、最後に、全員で、「気づき」と「私の約束」を共有しました。

未来寄合③ in 岩倉北小学校区

\\ プラスワン // さらなる一步編

1 少人数で創造的対話 「地域の担い手不足を解消するには？」

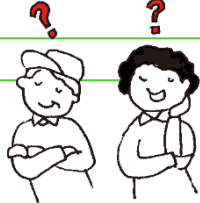
地域の担い手不足の課題として、これまでの未来寄合で挙げられた「役員の仕事の見直し・連携」、「デジタル化・IT化」、「待遇や報酬の見直し」の3テーマ（5テーブル）に分かれて、「いつ?」「だれが?」「どのように?」「したら良いか、解決策を具体的に考え、発表しました。以下は、各グループが提案した「解決策シート」の内容です。



役員の仕事の見直し・連携		
	1グループ	2グループ
いつ?	今でしょ!	今年度中(目標)
だれが?	現役員+行政+新しいキーパーソン(人材)発掘	区役員を中心に各種団体との協働で!
どのように?	①現状の正確な把握→見直し ②業務の整理、精選、改廃、簡略化 ③業務の見える化 ④他地区との情報共有→連携→交流の場づくり ⑤各世代の参加システム(制度) ⑥女性の参加	・多世代間の交流を図る ・情報収集、区長から入手 ・活動していただける人、積極性、協調性 モノ、興味のあるコト!を探す ・みんなが参加できる行事をする!→ネットワークを作る! ・行政の取り組み、積極的に関わって
阻むもの(課題)	古い考え、慣例	・第三者からの「やめておけ、大変だよー!」 ・興味ない!面倒くさい!個人主義に入り出てこない!

デジタル化、IT化		
	1グループ	2グループ
いつ?	今	できることから!!
だれが?	行政、市民	区と市。若い世代の取り組みが課題
どのように?	・ペーパーレスを強制的に! (必要だと思えば使う、教室等でフォローする) ・パソコンを使う趣味(使うきっかけづくり) ・子どもたちが関わる(市のHP、市のPR動画など) ・便利さを広める取組	・役員会→オンライン化(WEB化)体を空ける負担減 ・オンラインの活用で区の枠を超えての協力など ・市の協力は不可欠(個人情報取り扱い、お金とか) ・LINEで閲覧できないものは閲覧板でやっている(中本町) ・できるもの、できないものがある
阻むもの(課題)	デジタルを使わなくても何とかなる現状 システムが難しい、知識が不十分	高齢者。デジタル化でどれだけ負担が軽減できるか? 使用料金(LINE5,000円/月←送信数制限解除)

待遇や報酬の見直し

いつ?	今でしょ（できるところから順次）	? ?
だれが?	区（市との連携）	
どのように?	(1) 負担の見える化→負担に見合う報酬、謝礼、やりがい（お金に置き換えられない） (2) 役割分担の細分化→人を増やすことで負担軽減 (3) 区独自の収入を増やす（バザーなど） (4) 金銭以外のやりがい（地域とのつながり、社会貢献）などプラス面の周知、理解促進 (5) コミュニティに参加する	
阻むもの（課題）	従来と同じでよいという考え方、ボランティアは当たり前、何をやっているのかわかりにくい、負担感	
追い風（リソース）	やりがい就労（働きがいがある収入がある）、承認欲求、若い人の声（新しい住民）、IT 化 キャリア教育の1つとして区の仕事をする	

2 全体トーク

◆組織のあり方

- ・未来を見据えて、区数減を検討したどうか
- ・小学校区ごとの組織とする
- ・区割りは、行政指導で行う
- ・区に加入しない人の増加
- 将来的に区がなくなる。行政が加入促進

◆役員の仕事の見直し・連携

- ・現状把握、他地域の把握→負担軽減

◆デジタル化・IT 化

- ・LINE 導入にあたって、市民活動支援センターにも相談した
- ・取り組み方の検討が必要
- ・モチベーションの上げ方
- ・環境の整備
- ・行政文書のテンプレート化が必要

◆待遇・報酬

- ・テーマ設定が難しく感じた



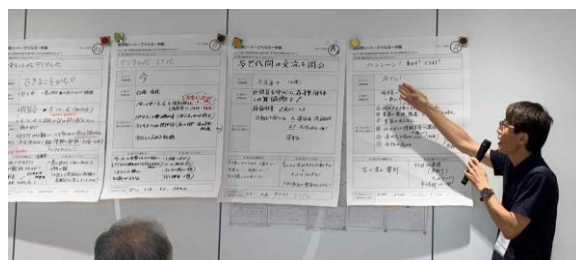
3 チェックアウト

Awareness（これまでをふりかえって気づいたこと・発見）

● 前向き発言が多く、いい議論ができ、それなりの解決に向けた糸口がつかめた ● 区に関わることに、やりがいやプラス面を多く感じておられることに驚きを感じた。その見える化が大事 ● 行政区と連携して、市民一人一人が住んでいる地域のことを考える必要がある ● 「区」という区切りが適切なのかどうか再考する必要があるかもしれない。もっと顔が見える小さなコミュニティが良いこともあれば、境界を超えた方が良いものもあると思った ● 担い手に多様性が必要 ● 若い世代を巻き込んで縦のつながりを築いていくことが重要だと思った。区について若い意見は受け入れてもらえないのではないかと考えていたが、そうではないことが分かったので、機会を見つけて積極的に参加していきたい ● 普段何気なく生活していたけど、裏ではたくさんの方が支えて動いていることを知った ● 中・高・大生の参加は画期的なアイデア など

Commitment（私は岩倉北小学校区のために…します！）

● 区の行事になるべく参加し、子どもも参加させて、みなさんとつながっていく ● 地域課題に関心を持ち続ける ● 行事に対する発信力を強めていく方法を探りたい！ LINE 登録者を増やしたい ● 区の広報活動や募集行動に LINE 等を使うことに挑戦してゆく ● 取り急ぎ担当の職務から現行の方法を見直し、更なる合理性を図っていく ● 出席されていない区の方々にアプローチする ● 役員の仕事に興味を持ち、改善に協力する ● IT 化、デジタル化に技術面で役に立てるように勉強する ● 学校現場で「地域が好きな子」を育てていく など



今後の予定：未来寄合 全体フォーラム

2024 年 1月20日（土） 13:30～
アデリア総合体育文化センターにて
市内 5つの小学校区合同の全体フォーラムを
開催します。是非ご参加ください！

岩倉市役所 協働安全課（須藤・植手）

TEL (0587) 38-5803

FAX (0587) 66-6380

✉ kyoudou@city.iwakura.lg.jp